

保護者の皆様

令和4年度知立小学校学校評価ー アンケート結果・分析 ーについて

知立市立知立小学校長 橋 本 昭

日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。令和4年度もコロナ禍のため多くの行事が見直されるなど、学校行事・教育活動が制限される年でした。そのような中、私たちは子どもたちの健康と安全を第一に、日々の教育活動を進めてまいりました。

こうした活動に対して、皆様にアンケートのご協力いただき、私たちの活動を振り返る機会とさせていただきます。そのアンケート結果がまとまり、分析を行いましたのでお伝えします。この結果をもとに、今後の知立小学校の教育活動に生かしてまいります。ご協力いただき、ありがとうございました。

この学校評価の結果・分析は、アンケート回答の一部を分析したものです。知立小学校ホームページのサイトにて、お答えいただきました全アンケート質問の結果を掲載していますので、ぜひご覧ください。

調査目的：児童生徒がより良い教育活動等を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すための資料とする。

調査時期：令和4年12月～令和5年1月

調査方法：スマートフォンや学習用端末タブレットを活用したアンケート

活用方法：結果について分析し、今後の知立小学校の教育活動に生かす。

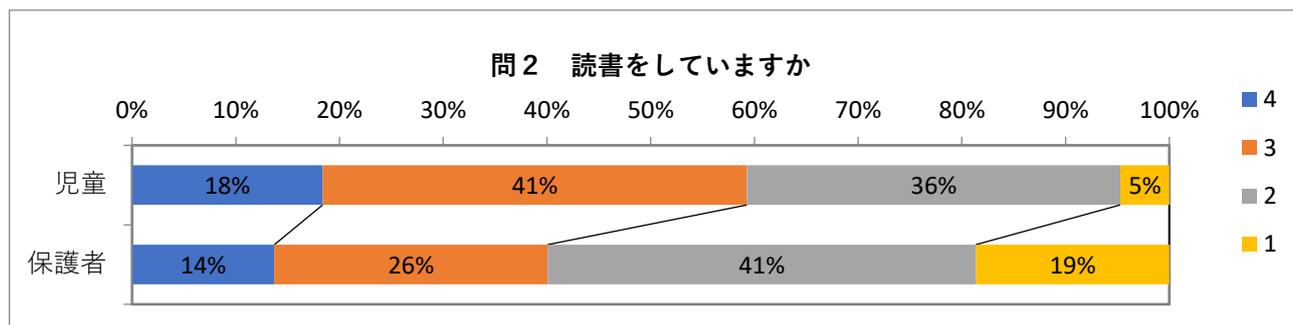
調査対象 回答数・回答率

児童(3～6年生) 94.1%(在籍数 561、有効回答数 528)

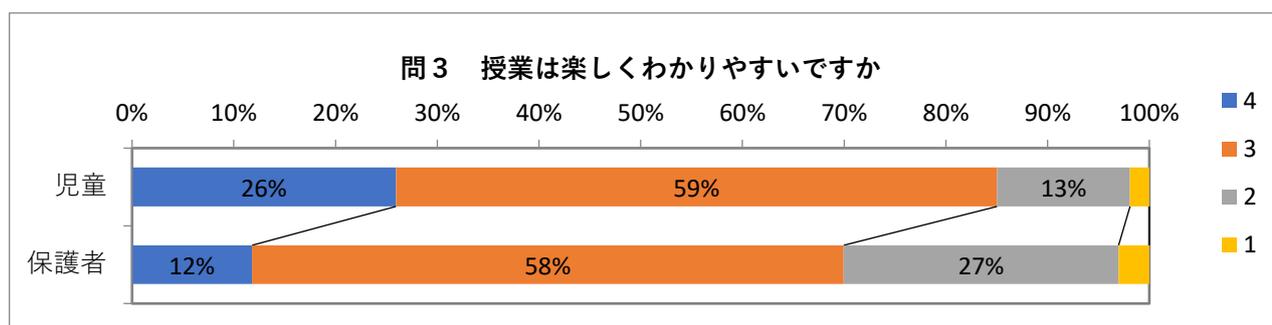
保護者(全員) 回答数 729 (無記名方式 児童数 833 家庭数 655)

I 本校の教育目標 1 「進んで勉強する子」 について

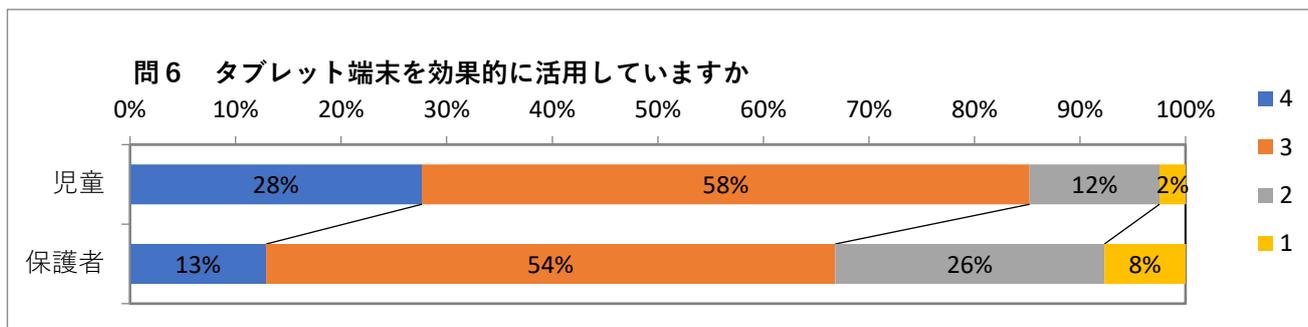
回答 ■ 4 4そう思う ■ 3 ややそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



- 「読書をしていますか」について、児童（3～6年生 以下同じ）の59%が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答していて、昨年度の結果64%よりやや減少しています。読書に親しむ児童の割合が減少し、活字離れが進んでいることがうかがえます。また他のアンケート結果では、反対にスマートフォンやタブレット端末に接する時間、操作時間が年々長くなっていることを分かっています。読書をとおして語彙力や表現力、情景描写や登場人物の心情を読み取る力、創造力などさまざまな力を培うことができます。静かに本に向かう時間は落ち着いて学習に望む姿勢づくりにも役立ちます。ご家庭で本にふれ合う機会をより多く設けていただければと思います。学校でも、低学年図書室を整備したり、児童が興味をもちやすい蔵書整備をしたりして努めてまいります。紙の本とタブレット端末等 ICT 機器の両方のよいところを有効活用できる力を身に付けてほしいと願っています。



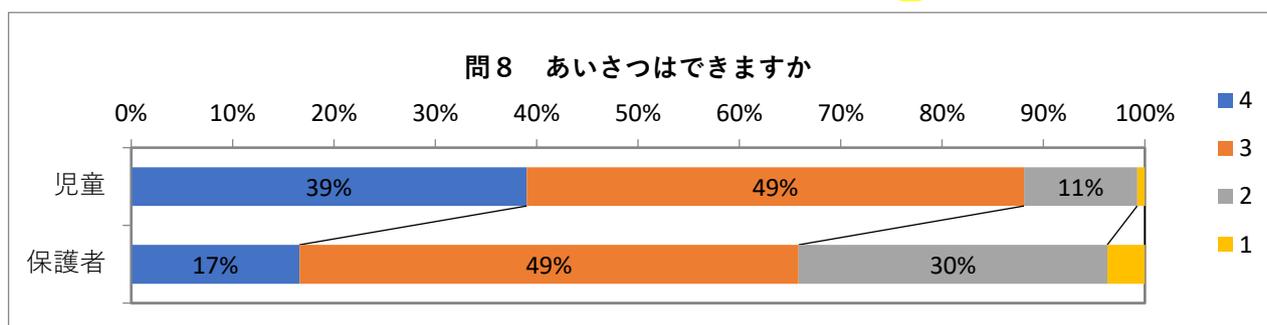
- 「授業は楽しくわかりやすいか」について、児童の85%が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答していて、昨年度の結果とほぼ同様でした。これは、教員が毎日の授業の流れや教材・教具の工夫を図り、知立小学校の児童が意欲的・積極的に学習に臨んでいる結果の表れかと考察します。また、コロナ禍でできなかった音楽の合唱やソプラノリコーダーなど楽器の演奏、家庭科の調理実習、体育の集団で行うサッカーやバスケットボールなどの球技、理科の共同で行う実験などが、感染対策を講じた上で今年度は少しずつできるようになってきました。こういった実感や実体験を伴う学習は、学習への達成感や成就感を生み出します。このことも結果に表れていると思います。今後も、「わかる授業」「楽しい授業」の構築を心掛け、児童の学習に対するやる気を引き出していきたいと思います。
- しかし、2%の児童（10人）が全くわからない・楽しくないと答えています。児童1人1人が興味・関心をもつことに違いがありますし、理解力にも違いがあります。私たち教員は個に寄り添った学習指導をしなければならないと改めて反省させられました。何をどのように学ばせるか、どのような力を身に付けさせたいか、明確な見通しをもってさらなる授業改善を図り、学習用タブレット端末を使った1人1人の学習進度に合わせた学習支援の在り方など工夫を図って行きたいと思っています。



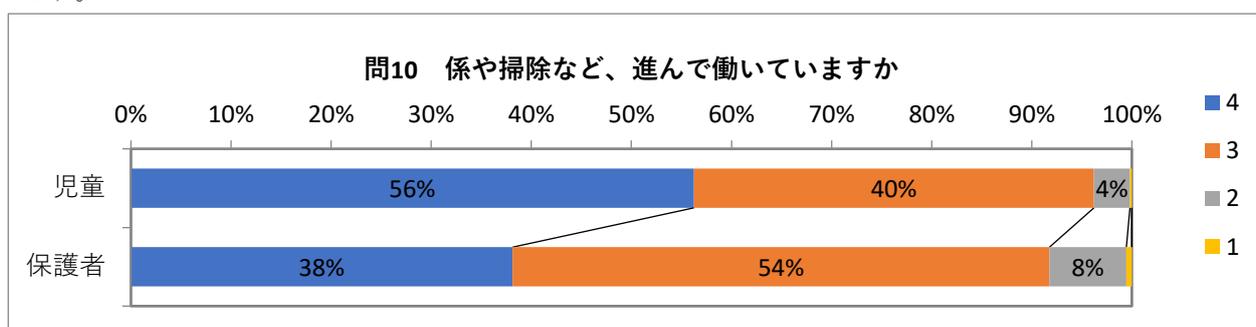
○今年度新たに学習用タブレット端末を活用について設問しました。「学習用タブレット端末効果的に活用していますか」について、児童の86%が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答しています。令和3年4月に全校児童にタブレット端末が貸与されて以来、本校では積極的に授業で活用しています。発言では、みんなの前で自分の考えや思いを伝えることを苦手としている子どもでもタブレット端末を活用することで全員に配信することができ、わかってもらったことで学習に対する自信につながることもありました。また、タブレット端末を使って画像や動画を撮影することで、学びの見える化や積み重ねがさらなる学習意欲の向上にもつながっていると考えます。今後も、子どもの学びを深める学習用タブレット端末を活用した授業の在り方を研究していきたいと考えます。

II 本校の教育目標2 「思いやりのある子」 について

回答 ■ 4 4そう思う ■ 3 ややそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



○「あいさつはできますか」について、児童の88%が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答して、昨年度の85%より3ポイント増加しています。子どもたちは毎日元気に挨拶をしています。「おあさご運動」(おはよう・ありがとう・さようなら・ごめんなさい)は本校で長年取り組んできた活動であり、児童会が中心となって自主的に取り組んできた活動です。人と人がつながるために、挨拶はとても大切なものです。全ての子が笑顔で挨拶ができるように、私たち教職員も率先垂範して挨拶を行っていききたいと思います。ご家庭でも子どもたちの挨拶を振り返る機会を設けていただければ幸いです。

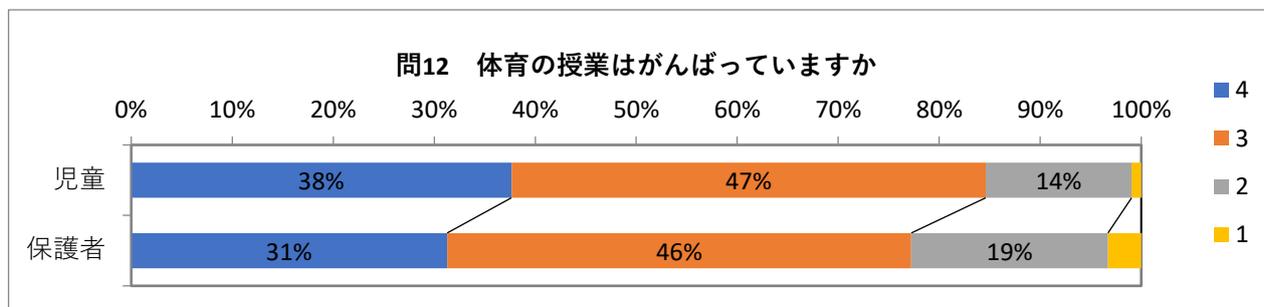


○「係や掃除など、進んで働いていますか」について、「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答している児童の割合96%でした。知立小学校の児童は、本当に積極的に掃除に取り組んでくれたり、お

手伝いをよくしてくれたりします。人のために行動できる子は思いやりのある子です。また、身の回りの環境や人に配慮できることは自立した人格形成につながります。各ご家庭での児童へのかかわり・教育の賜だと思えます。

Ⅲ 本校の教育目標3 「力いっぱい運動する子」(体力づくり、外遊びの充実) について

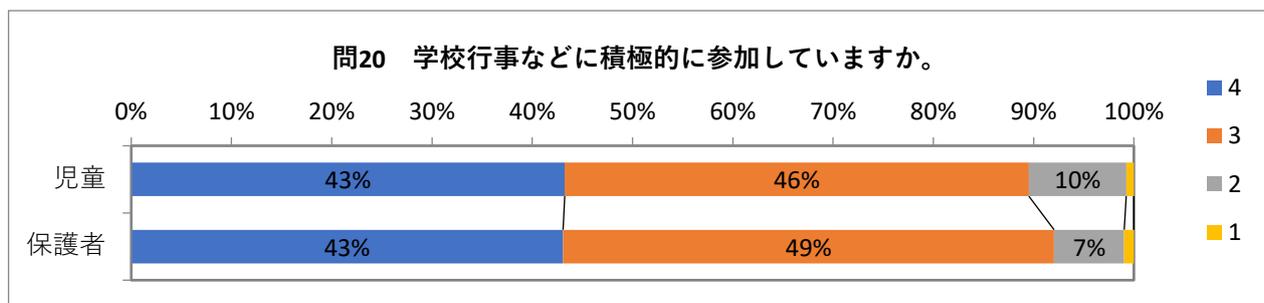
回答 ■ 4そう思う ■ 3ややそう思う ■ 2あまりそう思わない ■ 1そう思わない



○「体育の授業はがんばっていますか」について、「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答した割合は児童が約85%、保護者の皆さんが約75%で、昨年度とほぼ変わらず横ばいの状態でした。コロナ禍で外出を控えたり、ボールを扱う球技など集団での運動など体力づくりが制限されたりしてきました。しかし、少しずつではありますが以前のようにできるようになってきました。学校での体力づくり、放課での外遊びの役割がますます重要視されてきます。児童に身に付けさせたい「生きる力」とは、知・徳・体のバランスがとれた力といわれます。今後も教育目標の1つの柱として、子どもたちの体力向上、生涯にわたって運動に親しむ下地を培っていきたいと考えます。

Ⅳ 家庭・地域との連携、安心・安全・Vその他について

回答 ■ 4そう思う ■ 3ややそう思う ■ 2あまりそう思わない ■ 1そう思わない



○今年度新たに、学校行事・学年行事等についての取り組みについて設問しました。その結果、「積極的に参加している」「ややそう思う」と回答した児童は89%、保護者は92%でした。もちろん毎日の授業は大切です。しかし授業だけでなく、学校行事や学年行事等をとおして、友達とかかわり合い、同じ目標に向かって話し合い、努力する場面で児童は人として教科書に書かれていない大切なことを学ぶことができます。コロナ禍が収まりつつある今、児童にとって必要な学校行事等の在り方について見直しを図っていきたいと思えます。

子どもはだれもがもっとできるようになりたい、もっと友達と仲良くなりたいと前向きに学校生活を送ろうと願っています。今回のアンケート結果を生かし、本校の学校教育活動を見直し、改善を図っていきたいと考えます。保護者の皆様方のさらなるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。